

航空従事者技能証明学科試験例題集

操縦教育証明

2024年8月

操縦教育証明 (P 4 1)

例題 1

操縦教員は練習生の学習環境を整備し、学習意欲を高めるための欲求を満足させる配慮が必要である。この学習意欲を高めるための欲求で (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 安全の欲求
- (b) 支配の欲求
- (c) 生理的欲求
- (d) 自己満足の欲求

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (2)

例題 2

練習生と堅固で健全かつ有意義な関係を築けるかは、操縦教員が人間の行動と欲求に関してどれほど知識を有しているかに関わるとされ、また、学習過程を妨げる要因を知ることも有益であるとされている。この学習過程を妨げる要因の防衛機能の現象とその説明として誤りはどれか。

- (1) 抑圧 (Repression) : 不快なできごとを無意識のエリアに押し込み思い出せないようにすること。
- (2) 否認 (Denial) : 怖いと感ずる外部の事実を認めないこと。過去に起きたこと、今起きていること、この先起こり得ることなどを認めないこと。
- (3) 補償 (Compensation) : 不得手なものを得意とするもので補い精神のバランスを取ろうとする。
- (4) 反動形成 (Reaction Formation) : 受け入れがたい不快な衝動を人に押し付けること。失点、失敗、罪などを人になすりつけ、動機、願望、性格や衝動などは他の人が持つものとする。

正答 (4)

例題 3

社会心理学者のダグラス・マクレガーの提唱する人間の性質と動機に関する X Y 理論は操縦教員にも有益であるとされている。そのうち X 理論の考え方は間違いであると指摘し Y 理論の考え方を正しいものとし展開している。この展開されている Y 理論の考え方として正しいものはどれか。

- (1) 低次元の欲求をもつ人間の行動モデルとして捉えた考え方である。
- (2) 人間は本質的に仕事が嫌いで暇さえあればサボると捉えた考え方である。
- (3) 人間は罰則で脅かさなければ目的を達成しないと捉えた考え方である。

(4) 操縦教員の役割は練習生の潜在能力を引き出すことであり、そしてその能力がゴールへ向かうよう手助けすることと捉えた考え方である。

正答 (4)

例題 4

「学習」の定義について (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 経験と直接影響を受けた行動を通して認識に永続的な変化をもたらすこと。
- (b) 行動は身体的で誰の目にも明らかな場合と知性や態度の変化の場合がある。
- (c) 経験が行動に永続的な変化をもたらす過程である。
- (d) 学習、経験、教育を通して知識や技術を習得する過程のことである。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (4)

例題 5

シナリオに基づいた訓練 (SBT: Scenario Based Training) に関する記述 (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 現実世界を想定したシナリオに基づく訓練システムである。
- (b) この訓練は航空機を運航しているような設定の中でタスクをこなすため、そこでの意思決定はより現実に近い。
- (c) 教員は使用する航空機の飛行特性、飛行環境などを考えたシナリオを用意し、現実的な設定の中で即時に意思決定を迫る。
- (d) この訓練のメリットは学習者が系統立てて解決策を考え、どの解決策がふさわしいかを評価し、最善と思うものを決定する。さらにその解決策が適切であったのかを判断し、最後に問題解決に至った思考過程を振り返ることができる点にある。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (4)

例題 6

教育によって知覚の関係性を教えると学習速度があがり、結果、練習生の洞察力の発達を促すことができる。この洞察力について (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。

(1) ～ (5) の中から選べ。

(a) 知覚した個々のものをまとめて、そこから意味を引き出すことである。

(b) 関連性のある知覚事項を頭の中で関連づけたりグループ化したりすることである。

(c) 洞察力の養成は教員の仕事のひとつである。

(d) 経験の長さとは関係はなく、教育の有無と密接に関係する。

(1) 1つ

(2) 2つ

(3) 3つ

(4) 4つ

(5) 無し

正答 (3)

例題 7

教育心理学者である E.L.ソーンダイクが提唱する学習の法則には「準備の法則」「効果の法則」「練習の法則」「初頭効果の法則」「鮮烈性の法則」などがあるが、それらの説明で誤りはどれか。

(1) 準備の法則 (Readiness) : 学ぶ準備が整っている状態は「教えどき」と呼ばれることもあり、教育の良い機会である。

(2) 効果の法則 (Effect) : 満足の得られる状況に対する反応は強められ、不満足な場合には弱められる。

(3) 練習の法則 (Exercise) : 学んだことを理解し覚えるためには練習が欠かせない。練習は学習の関連性を強め、使わなければ弱くなる。

(4) 初頭効果の法則 (Primacy) : つい最近学んだことを最もよく覚えているという意味である。

正答 (4)

例題 8

Fitts & Posner によって提案されたモデルによると、練習生は、いくつかの段階を経て初心者から熟達者へ成長するといわれている。その段階について (a) ～ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ～ (5) の中から選べ。

(a) 第一段階は認知段階

(b) 第二段階は連合段階

(c) 第三段階は自動化段階

(d) 第四段階は発達段階

(1) 1つ

(2) 2つ

(3) 3つ

(4) 4つ

(5) 無し

正答 (3)

例題 9

オーセンティック評価について誤りはどれか。

- (1) 機械的学習と理解だけでなく、応用レベルや相互関係づけのレベルも評価の対象とする。
- (2) 実践的なタスクを行わせ、スキルや能力の応用力を評価する。
- (3) 正しい答えはひとつというタイプの評価である。
- (4) パフォーマンスの規準（基準）がある。タスクが容認できる水準で実施できるかを判定する。

正答（3）

例題 10

エラー（Errors）を減少させる方法（a）～（d）のうち、正しいものはいくつあるか。（1）～（5）の中から選べ。

- (a) 積極的にエラーの兆候を見逃さないようにする。
- (b) エラーは自分のペースで慎重に行うことで少なくすることができる。
- (c) 見えるところにリマインダーがあるとエラーを減らすことができる。
- (d) 標準化された手順を使うことでエラーの発生を少なくすることができる。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答（4）

例題 11

動機に関して説明したもので誤りはどれか。

- (1) 人が行動を起こす理由である。
- (2) 否定的なものや肯定的なものがある。
- (3) 肯定的な動機とは、報酬（褒美や見返り）が約束され、収入が増える、自己概念の満足、世間に認められるなどがある。
- (4) 叱責や脅威は否定的な動機になるとされており、いかなる練習生にも必要のないものである。

正答（4）

例題 12

学習の高原について（a）～（d）のうち正しいものはいくつあるか。（1）～（5）の中から選べ。

- (a) 一定のペースで向上し頂上にたどり着く現象である。
- (b) 訓練を続けていくと結果は必ずついてくる。
- (c) フラストレーションの原因になりやすい。

(d) 動機の低下などの原因になりやすい。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (3)

例題 13

効果的な「学習の定着」を促す方法について、誤りはどれか。

- (1) 「褒めるよりは叱りつけるやりの方が効果がある。」とされていることを利用する。
- (2) 「学習内容と関わりがある知識やスキルは思い出しやすい。」とされていることを利用する。
- (3) 「前向きになれる目標や見返りのある目標は、最も効果のある動機付けが期待でき、記憶を助け、学習の定着を促す。」とされていることを利用する。
- (4) 意味のある反復練習を行う。

正答 (1)

例題 14

「学習の転移」について誤りはどれか。

- (1) 練習生が学習をするときに、以前に学んだことが役に立つことがある。一方、明らかに以前に学んだことが現行の学習課題の妨げになることがある。
- (2) 以前の学習が現行の学習に役立つ場合は、正の転移が行われたといい、現行の学習を阻害するものは、負の転移が行われるという。
- (3) 全ての学習に、ある程度の転移が存在する。新規の学習は以前に学んだ経験に基づくものである。人は新しいことを以前の知識で解釈する。
- (4) 同じような能力の練習生であれば成績に差が出ることはなく、学習の転移が指導に役立つことはない。

正答 (4)

例題 15

練習生と効果的なコミュニケーションを行う場合に考慮すべき事項で誤りはどれか。

- (1) 練習生と似たような経験（身体的、精神的、感情的）を有することが鍵である。
- (2) 抽象表現は有益であり多用したほうが良い。
- (3) 専門用語を使う場合は、練習生に用語の理解を図ることが求められる。
- (4) 具体的な表現は考え方を特定し、対象物を思い浮かべることができる。

正答 (2)

例題 16

操縦教員に必要な教育スキルのうち人間関係のスキルについて (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 交流、会話、理解、共感など人との係わりを上手くできる能力のことである。
- (b) 練習生をつまづかせている箇所に気が付く能力、練習生をやる気にさせる能力などが含まれる。
- (c) 効果的にコミュニケーションが出来ないのであれば、専門知識は無意味である。
- (d) 効果的なコミュニケーションとは、教えることだけでなく練習生の声にも耳を傾けることである。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (4)

例題 17

操縦教員が教育するパイロットとして理想的な人材について (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 正しい判断に基づいて意思決定ができる。
- (b) 効率的に危険を察知し対処できる。
- (c) 法律や規定遵守よりも作業効率を優先できる。
- (d) 慎重な操作基準と個人的な作業信念に従う。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (3)

例題 18

シナリオ・ベース・トレーニングは現実世界の経験をシナリオに反映させたもので、シミュレーターなどオペレーショナルな環境の中で訓練の目標に取り組むものである。良いシナリオの条件について (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 正しい答えはひとつではないもの。
- (b) 分かりきった答えではないもの。
- (c) エラーを誘発しやすい内容であるもの。
- (d) 状況認識と決断を下す機会が含まれているもの。

- (1) 1つ

- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (3)

例題 19

「効果的な質問の特徴」で (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5)の中から選べ。

- (a) 短く簡潔なこと。しかし明確であること。
- (b) 訓練の主題に関わるものであること。
- (c) 練習生にとって適度な難しさをもっていること。
- (d) 質問のポイントをひとつに絞らずに複数を組み合わせること。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (3)

例題 20

操縦教員としてあるべき姿で誤りはどれか。

- (1) 容姿は大切であり清潔で品位を保つ。
- (2) 率直で正直であるべきである。
- (3) 落ち着いた物腰、思慮深さ、自制の効いた態度である。
- (4) 時には横柄な態度をとるべきである。

正答 (4)

例題 21

飛行訓練に共通する学習障害について (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5)の中から選べ。

- (a) 練習生が不安を抱えていること。
- (b) 練習生が心配事を抱えていること。
- (c) 練習生の身体的な不快、疲労
- (d) 練習生が不十分な教育であると感じ無関心になること。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ

(5) 無し

正答 (4)

例題 22

統合飛行訓練 (Integrated Flight Instruction) について誤りはどれか。

- (1) 統合飛行訓練は、練習生に外部の目標及び飛行計器の両方を参照して操縦することである。
- (2) 統合飛行訓練は、雲中飛行を行うための訓練ではないことを練習生に強調しておくことが、大切である。
- (3) 練習生が計器により操縦している間、操縦教員は外部監視に専念し、練習生に外部に対する注意力の配分が必要ないように思わせることが大切である。
- (4) 統合飛行訓練は、飛行訓練の初期から計器を信頼する習慣を身につけるための訓練である。

正答 (3)

例題 23

飛行訓練のように複雑な訓練では、練習生は学習のブロックをひとつずつ学んでいき、ブロック同士を関連付け、そして全体の目標へ達するとされている。従って操縦教員は飛行訓練開始前に数多くの学習ブロックを適切な関係をもって組み立てる必要がある。学習ブロックを組み立てるうえで、操縦教員が考慮すべき事項 (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 訓練活動のプランとマネジメントを計画するときに区分した学習ブロックは、その範囲において一貫性があること。
- (b) 学習ブロックは学習ユニットでもあり、測定と評価の対象となるもので、単に訓練の順番ではないこと。
- (c) 大きな学習ブロックを小さな学習ブロックに分割し、扱い易くすること。
- (d) 練習生がすでに知っていることを土台にして学習ブロックを考えていくこと。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (4)

例題 24

訓練シラバスの構成又は使い方について誤りはどれか。

- (1) 訓練シラバスは効果的な訓練を行うために適切な学習ブロックの組み立てにより構成されている。
- (2) 訓練シラバスは訓練コースの目標達成のためにロードマップとしてデザインされている。

- (3) 訓練シラバスは柔軟性に富み、主としてガイドとして用いるべきである。
- (4) 操縦教員は完成度の高い市販のシラバスを使うべきであり、独自の訓練シラバスを使うのは望ましくない。

正答 (4)

例題 25

適切なレッスン・プランの要素について (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。

- (1) ~ (5) の中から選べ。
- (a) レッスンが訓練コースの目標と結びつくようになっていること。
- (b) 訓練の題材をしかるべき順序で提供できること。
- (c) 素材の選択が賢明に行われており、些細な点は排除していること。
- (d) レッスンがいつ行われても、一貫した教育となること。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (4)

例題 26

TEM (スレット・アンド・エラー・マネージメント) に関する記述 (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) スレットは、乗員が適切に対処しなかった場合に乗員のエラーを誘発する可能性がある要因であり、悪天候、複雑な地形、類似コールサインや機器の故障等があげられる。
- (b) エラーは、乗員自身、または組織の意図や期待から逸脱することを言い、安全マージンを減少させる。
- (c) エラー・マネージメントは、スレットに誘発されて乗員がエラーをしたり、望ましくない航空機の状態になったりする可能性を低減するために対策を講じることである。
- (d) エラー・マネージメントは、乗員のエラーが更なる乗員のエラーや望ましくない航空機の状態に発展しないように、対策を講じることである。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (3)

例題 27

飛行中の状況認識の維持を妨げるものとされている「自己満足」の事例 (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 練習生がフライト経験豊富な場合
- (b) 乗り慣れた航空機で飛行する場合
- (c) 冗長性と信頼性が高い先進的なアビオニクスを搭載している場合
- (d) いつも繰り返して行うオペレーションの場合

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (4)

例題 28

航空従事者技能証明を有さない者が航空法第 2 2 条 (航空従事者技能証明) 及び同施行規則第 4 2 条 (技能証明の申請) 第 1 項により航空従事者技能証明申請書を提出した場合、同施行規則別表第二に掲げる飛行経歴その他の経歴を有する書類を国土交通大臣に提出しなければならない定めで、正しいものはどれか。

- (1) 学科試験の全科目について合格した試験の日から 1 年以内に提出すること。
- (2) 学科試験の全科目について合格した試験の日から 2 年以内に提出すること。
- (3) 学科試験の全科目について合格の通知があった日から 1 年以内に提出すること。
- (4) 学科試験の全科目について合格の通知があった日から 2 年以内に提出すること。

正答 (4)

例題 29

航空法第 3 5 条第 2 項に規定する操縦練習の監督者が、航空法第 3 5 条第 1 項に規定する操縦練習を行う者とその操縦の練習を開始する前に、確認しなければならない事項で (a) ~ (e) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 操縦練習を行う者が技能証明を携帯していること。
- (b) その練習の計画の内容が適切であること。
- (c) 操縦練習を行う者がその練習を行うのに必要な知識及び能力を有していること。
- (d) 飛行しようとする空域における気象状態がその練習を行うのに適切であること。
- (e) 使用する航空機がその練習を行うのに必要な性能及び装置を有していること。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 5つ

正答（４）

例題 30

航空法第 9 2 条の国土交通省令で定める航空交通の安全を阻害するおそれのある飛行で、誤りはどれか。

- （１）航空機の姿勢をひんぱんに変更する飛行
- （２）音速を超える速度で行う飛行
- （３）失速を伴う飛行
- （４）航空機の高度を急激に変更する飛行

正答（２）

例題 31

実技試験において、実地試験を中止する場合について（a）～（d）のうち、正しいものはいくつあるか。（１）～（５）の中から選べ。

- （a）科目が判定基準に達しないときは、いかなる場合であっても中止する。
- （b）航空法等に違反する行為があったときは、いかなる場合であっても中止する。
- （c）危険な操作を行ったときは、いかなる場合であっても中止する。
- （d）不正な行為を行ったときは、いかなる場合であっても中止する。

- （１）１つ
- （２）２つ
- （３）３つ
- （４）４つ
- （５）無し

正答（３）

例題 32

航空法第 7 0 条（アルコール又は薬物）で定める、航空機乗組員がアルコール又は薬物の影響によって正常な運航ができないおそれがある状態の目安について（a）～（d）のうち、正しいものはいくつあるか。（１）～（５）の中から選べ。

- （a）身体に血液 1 リットルにつき 0. 0 2 グラム以上のアルコール濃度を保有している場合
- （b）身体に血液 1 リットルにつき 0. 0 3 グラム以上のアルコール濃度を保有している場合
- （c）身体に呼気 1 リットルにつき 0. 0 9 ミリグラム以上のアルコール濃度を保有している場合
- （d）身体に呼気 1 リットルにつき 0. 1 5 ミリグラム以上のアルコール濃度を保有している場合

- （１）１つ
- （２）２つ
- （３）３つ
- （４）４つ

(5) 無し

正答 (1)

例題 33

航空機を操縦している時の耳閉塞について誤りはどれか。

- (1) 症状が悪化すると、飛行中又は着陸後に鼓膜が破れることがある。
- (2) 上昇中よりも降下中に発生しやすい。
- (3) 経口の充血低減薬によって防止するのが望ましい。
- (4) 風邪、咽喉の痛みなどの呼吸器系の病気又は鼻孔アレルギー状態のある時に起きやすい。

正答 (3)

例題 34

低酸素症 (ハイポキシア) について、誤りはどれか。

- (1) 大気中に酸素の占める割合は地上からはるか上空に至るまで約 21% とほぼ一定であるから飛行高度の増大、つまり大気圧の減少に対応して低酸素症状の傾向は増大する。記憶力、判断力および計算能力等が低下し始め、つづいて頭痛、眠気等が起きる。
- (2) 低酸素症 (ハイポキシア) と過呼吸とは初期の兆候がよく似ている。さらに両者は同時に発生することが多い。
- (3) 低酸素症 (ハイポキシア) は体内から必要以上に酸素を排出してしまうため、パイロットは頭がふらふらしたり、息苦しくなったり、眠くなったり、激しい耳鳴りや悪寒の症状を起し、そのために身体はさらに低酸素症を増幅させる結果をきたす。環境適応能力と方向感覚の喪失および筋肉けいれんの痛みなどによって、ついにはパイロットのすべての能力が失われ、やがて人事不省となることもある。
- (4) 喫煙や排気ガスに含まれる一酸化炭素の吸引は、血液の酸素運搬能力が既に気圧高度 5,000 フィート以上における酸素運搬能力と同等な程度にまで減少してしまい、それだけ低酸素症 (ハイポキシア) にかかり易くなる。

正答 (3)

例題 35

パイロットは飛行中、必要な情報の大半を視覚によって得ている。夜間の離着陸時には、機外の視覚情報源を航空灯火に頼る率が高いので、パイロットは航空灯火の示す意味を正確に理解していなければならない。航空灯火は 5 色の光を用いることで一般灯火との識別、航空灯火相互の識別、誘目性、直感性が得られるように配慮されている。それぞれの色の意味について (a) ~ (e) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 白 : 用心・制限
- (b) 赤 : 危険・停止・禁止
- (c) 黄 : 注意・警告
- (d) 緑 : 方向
- (e) 青 : 安全・進行・正常

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (2)

例題 36

飛行中の錯覚について正しいものはどれか。

- (1) 離陸中の急激な加速は、機首下げ姿勢にあるような錯覚を生じやすい。
- (2) 傾いた雲の稜線、不明瞭な水平線、地上灯火のある種の幾何学的な配列などによって、航空機の姿勢が実際の水平線に正しくアラインしていないような錯覚が起こりやすい。
- (3) 通常より狭い幅の滑走路に進入するときは航空機が実際の高さよりも低い高度にあるような錯覚を生じやすい。
- (4) 上り勾配の滑走路または上り勾配の地形のいずれかまたは両方の場合、パイロットは事実上の高さよりも低いところにいるような錯覚を起こす。

正答 (2)

例題 37

山岳波に関する記述 (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 山岳波は山頂高度付近に逆転層などの安定層があり、山頂に直角に近い風向で風速が強いつきに発生する。
- (b) 大気が湿っていればロール雲あるいは大きい波状雲ができるので一見して山岳波の存在を知ることが出来る。
- (c) 山岳波が予想される場合は、ロール雲が見られなくともローター域の飛行は出来るだけ避けるべきである。
- (d) 富士山の風下側の山岳波は、中部山岳地帯によってできた山岳波との干渉も考えられ、波と渦流が組み合わされて特に激しい空域が部分的に発生する。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ
- (4) 4つ
- (5) 無し

正答 (4)

例題 38

日本における捜索救難 (SAR) について (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 航空機の SAR 体制は、国土交通省航空局、海上保安庁、防衛省、警察庁および消防庁が協力して、ICAO ANNEX 1 2 に準拠した手順に従って実施される。
- (b) 救難調整本部 (RCC) とは、航空機の搜索救難活動を迅速かつ有効に実施するために必要な情報の入手、関係機関への連絡および調整を一元的に実施する機関である。
- (c) 位置通報が予定時刻から 30 分過ぎてもない場合は警戒の段階だが、この段階では RCC に通報はされない。
- (d) 日本が担当する警急業務の空域は福岡飛行情報区 (FIR) である。

- (1) 1 つ
- (2) 2 つ
- (3) 3 つ
- (4) 4 つ
- (5) 無し

正答 (3)

例題 39

管制上の優先的取扱いが講じられる場合 (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 航空機が「MINIMUM FUEL」を通報した場合
- (b) トランスポンダーでコード 7700 を送信した場合
- (c) 運航者が「不法妨害を受けている」旨を通報した場合
- (d) 航空機が火山灰雲に入った旨を通報した場合

- (1) 1 つ
- (2) 2 つ
- (3) 3 つ
- (4) 4 つ
- (5) 無し

正答 (3)

例題 40

緊急時の措置について (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。

- (a) 使用可能な残存燃料で安全に着陸するために、管制上の優先的取扱いが必要な場合は、「LOW FUEL」を通報する。
- (b) 航法機器の故障その他の理由によって自機の現在位置が不明確になった場合には、ATC レーダーあるいは防空レーダーによる援助を求めることができる。
- (c) 防空レーダーの共通呼出は「STAR GAZER」である。
- (d) 遭難通信は、「EMERGENCY」の信号で開始しなければならない。

- (1) 1 つ
- (2) 2 つ

(3) 3つ

(4) 4つ

(5) 無し

正答 (2)